



水薬用チャイルドレジスタンス容器 モデル調査実施結果をまとめました

東京都は、平成23年10月からの2ヶ月間、都内の協力薬局等で、子供が開封しづらいCR容器（チャイルドレジスタンス容器）を使って子供用水薬を調剤し、実際に都民が使用するモデル調査を実施しました。アンケート結果は次のとおりです。

1 使用したCR容器

	タイプ1	タイプ2	タイプ3
	ふたを下に押し回す (プッシュアンドターン)	ふたに被せたカバーを 押し潰しながら回す	ふたに被せたカバーの ツメを押して回す
子供の誤飲を防ぐ 構造			

2 調査結果

◎都民 5,152 件、協力薬局等 223 件、
協力薬剤部 130 件のアンケートを集計
(報告書 p5, 16, 21)

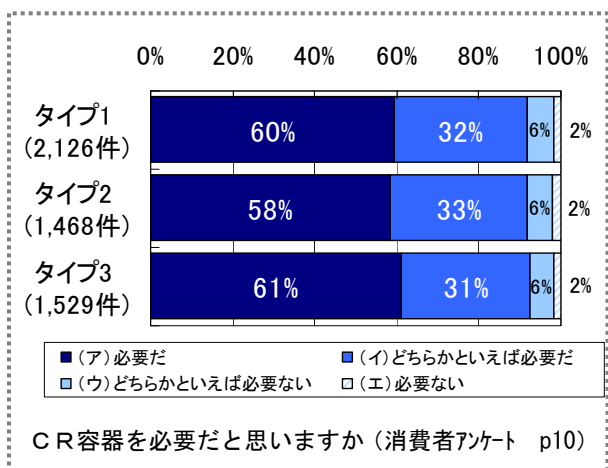
◎ 消費者は、CR容器の必要性や効果を感じている

- ・消費者の9割が、CR容器が「必要※」で、誤飲防止効果が「ある※」と感じた (p10-11)
- ・薬局や薬剤部の8割以上も、CR容器の誤飲防止効果は「ある※」と回答 (p19, 23)

※「必要」は「必要だ」と「どちらかといえば必要だ」の合算。「ある」は「ある」と「どちらかといえばある」の合算。

◎ 課題

- ・消費者の9割はCR容器の使用に前向きだが、容器代負担については、3割が「負担はできない」と回答 (p12-13)
- ・薬局にとっては、調剤するときの「CR容器の扱いづらさ」「患者への説明」等が負担となる場合があった (p20)
- ・各タイプは効果等で一定の評価を得たが、使い勝手では様々な意見がみられた (p15, 20, 23)



【問合せ先】

生活文化局消費生活部生活安全課 大野、源
電話：03-5388-3057(直通) 29-850、871(内線)

3 情報提供

調査結果は関連事業者団体等に対して情報提供していきます。

- ◎ 消費者や薬局に対し、CR容器の製品特徴やその効果を正しく伝える
- ◎ 容器製造事業者には、継続的な技術面での改良を促す
- ◎ 子供の誤飲の危険性について総合的に周知していく

報告書はホームページからダウンロードできます。<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/>
水薬用チャイルドレジスタンス容器 導入モデル調査 (PDF 形式: 1,400KB)

【調査概要】

(1) 調査名

水薬用チャイルドレジスタンス容器導入モデル調査

(2) 調査の目的

- ア 都民及び薬局・薬剤部（科）のCR容器に対する認知度向上
- イ CR容器普及に係る課題の明確化

(3) 調査対象及び方法

ア 都民に対するCR容器導入モデル調査

都内の254協力薬局等にCR容器、消費者用調査票等を各300セット配付し、協力薬局等にて小児用水薬を調剤する際、都民（患者の保護者）にCR容器を使用してもらった。

イ 協力薬局等に対するCR容器導入モデル調査

上記アの254協力薬局等に、調剤時の使用感や、実際に患者の保護者に対して行った説明等について尋ねるため、調査票を1部ずつ配付し、回収・集計した。

ウ 協力薬剤部に対するCR容器の意識調査

都内の医療機関の181協力薬剤部（科）に、CR容器のサンプル3本、薬剤部用調査票等を配付し、調査票の回収・集計を行った（外来患者への調剤の機会が少ない病院薬剤部（科）からも意見収集することを目的）。